石尾台中ブロック

母親委員会だより

平成 26 年度

《 石尾台中学校 福祉講演会（5 月 2 日） 》

「赤十字国際救援活動の現場で出会った子どもたち」という演題で、名古屋赤十字病院国際医療救援部 看護師長　関塚美穂さんによる福祉講演会が開催されました。

関塚さんは看護師として 10 年を経過した時に、世界にはまだ紛争で命を脅かされている子供達の存在を知り赤十字の国際救護活動に従事することを決意されたそうです。

「あなたは大切な人だと思いますか？」という質問から講演はスタートしました。改めて質問されると一瞬ドキリといたしました。お母様が病に倒れられたことがきっかけで中学生時代に「命がけで生んだ大切な子であること」「大切な人である」ことに気づいたというご自身の体験談を中学生のみなさんは真剣に聞いていました。

そして、国際医療救援部の看護師長としての活動の話では、インドネシアやパキスタンでの紛争に巻き込まれる子どもたちと一緒に過ごされた体験談を紹介されました。日々私たちは、学校で勉強できることやきれいな水がすぐに飲めること等をあたりまえと思って過ごしています。国際救援の活動の話を写真を交えて聞けたことで、私たちのあたりまえと思っていることは、とても素晴らしいことであると気づき、感謝する気持ちを忘れないで過ごしたいと思う一時でした。

《 石尾台中ブロック母親委員会 研修事業 表情筋トレーニング （5 月 27 日） 》

松下美奈子さんによる「表情筋トレーニング」研修が行われました。

先生は、今から10年ほど前、10歳を筆頭に三人の男の子の育児に追われて、「おにばば、くそばば」と子供達に言われる毎日を過ごしていたそうです。

そんな時に表情筋トレーニングと出会い、顔のリフトアップに励むことで自信と笑顔を取り戻し、それからは「子供の幸せは、ママの素敵な笑顔から」をモットーに褒める育児を実践されました。先生が変わったことで、子供達もいい方向に変わっていったそうです。

先生の体験談を聞き、参加者からは「自分もトレーニングをして笑顔で子育てがしたい。」との声が多く聞かれました。

たかが表情筋トレーニング、されど表情筋トレーニング。

家族のためにも自分のためにもいつも笑顔でいたいですね。